

(3)安城更生病院 病床機能区分変更について

安城更生病院では令和3～4年度にかけて施設整備を行い、令和4年5月に増床し、現在は771床で運用している。西三河南部西構想区域における医療需要の増加を想定した施設整備と増床であるが、救急搬送件数は令和4年度時点でコロナ流行以前より上回っており、令和5年度はさらに増加している。

【西三河南部西構想区域の搬送人員】

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
衣浦東部消防	21,890件	21,715件	19,259件	19,411件	21,989件
西尾市消防	6,653件	6,404件	5,913件	6,302件	7,070件
合計	28,543件	28,119件	25,172件	25,713件	29,059件

安城更生病院において救急搬送患者の受入病床となる集中治療系病床については、施設整備においてHCUを2床減少のうえ、CCUを4床増床した。しかしながら、当院の令和5年度実績は、救急車来院患者数及び救急車来院緊急入院患者数は令和4年度を約9%上回るペースで推移している。またコロナ禍より大幅に改善しているが、不応需についても令和5年度はコロナ流行以前と同様の年間300件ペースで推移しており、大半が満床を理由とした不応需であることから、受け入れる病床の確保が急務である。

【対応】

既に小児患者を受け入れるため令和6年1月より小児病棟を42床から45床に増床したが、今回令和6年5月よりHCUも16床から18床に増床することを計画。また日本脳卒中学会より一次脳卒中センターコアの認定を受けており、当該機能を有する病棟も39床から40床に増床することを計画した。HCUと脳卒中センターの病棟は高度急性期病床であり、今回の変更により当院の高度急性期病床は合計3床の増床となる。

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
変更前	290床	481床	0床	0床	771床
変更後	293床	478床	0床	0床	771床
増減	+3床	▲3床	±0床	±0床	±0床

【参考】愛知県地域医療構想における当該構想区域の記載内容及び現状

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
2025年の必要病床数	585床	1,703床	1,770床	940床		4,998床
2022年の病床機能報告	387床	2,439床	858床	851床	129床	4,664床
差	198床 不足	736床 過剰	912床 不足	89床 不足	—	—

2022年の病床機能報告では、2025年の必要病床数と比べると、急性期機能の病床数が過剰で、高度急性期機能、回復期機能の病床が大きく不足していることから、安城更生病院における今回の病床機能変更は西三河南部西構想区域においても適当と考える。